

# 新婦人しんぶん

## 新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせてます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

## 今週の紙面

- 2面 女性ニュース
- 3面 読者のページ/まんが/乱楽
- 4~5面 ライフプラン教育って!/?/女性働く/ホットライン/それって?
- 6面 食事情/子育て相談/時事・カルトと人権
- 7面 新婦人の活動/主張/母の歴史



埼玉・秩父市 豊田日出子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

# 「専守防衛」の放棄 敵基地攻撃能力の保有 戦争国家 とんでもない!

ジャーナリスト 布施祐仁さんに聞く



日米共同統合演習「キーン・ソード23」で、住民が抗議するなか、公道を走る戦闘車 (2022年11月17日、沖縄・与那国町)



ふせ・ゆうじん 1976年生まれ。ジャーナリスト、元『平和新聞』編集長。著書多数。最新作は『日米同盟・最後のリスク なぜ米軍のミサイルが日本に配備されるのか』(創元社)

## 日本が戦場になる危険

岸田政権が閣議決定した安全保障に関する3文書。歴代政権が掲げてきた「専守防衛」を投げ捨てる「戦後の安全保障政策の大転換」に自民党の重鎮をはじめ、各界・各層から強い批判があがっています。ジャーナリストの布施祐仁さんに聞きました。

「政府は「防衛力強化のため」と言っています。安保3文書では「日米同盟の更なる強化」が強調され、日本の軍事力の抜本的強化が「米国の能力のより効果的な発揮にも繋がり、日米同盟の抑止力・対処力を一層強化する」(国家防衛戦略)と述べています。2015年の安保法制の制定で日

本の「国家安全保障戦略」は、これに追随する内容と

## 安保3文書の柱

国家安全保障戦略	最上位の戦略文書。戦後の安全保障政策を実践面から大きく転換。敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有、軍事費「GDP2%」を明記
国家防衛戦略 (旧防衛計画の大綱)	「防衛目標」の設定と方法、手段を明記。重視する能力7項目(①スタンド・オフ防衛②統合防空ミサイル防衛③無人アセット④領域横断作戦⑤指揮統制⑥機動展開・国民保護⑦強靱性・持続性)を明記
防衛力整備計画 (旧中期防衛力整備計画)	10年後の体制を念頭に5年間の経費総額(23~27年度で43兆円・内訳下記)や装備品の数量など記載。敵基地攻撃兵器などの導入計画を記載

## 防衛費総額約43兆円の内訳

- ▽スタンド・オフ防衛 約5兆円
- ▽長射程のミサイルの配備など
- ▽統合防空ミサイル防衛 約3兆円
- ▽新型イージス艦など整備
- ▽無人アセット防衛 約1兆円
- ▽攻撃型無人機など配備
- ▽宇宙 約1兆円
- ▽次期防衛通信衛星など整備
- ▽サイバー 約1兆円
- ▽サイバー防護機材、人材育成など
- ▽機動展開能力 約2兆円
- ▽海上、航空輸送能力を強化など
- ▽弾薬・誘導弾 約2兆円
- ▽装備品等の維持整備費 約9兆円
- ▽施設の強靱(きょうじん)化 約4兆円
- ▽重要施設の地下化
- ▽研究開発 約1兆円
- 民生先端技術のとりくみ

今回の閣議決定された「防衛力整備計画」では、



「日米同盟・最後のリスク」 布施祐仁著(創元社 1500円+税)

〈2面へ〉

「覇権争い」するアメリカを日本が全面的に支援し、アメリカと一体になって中国に軍事力で対抗していく方向です。このなかで、自衛隊は完全に米軍の補完戦力として位置づけられています。安保3文書は敵基地攻撃能力(「反撃能力」)の保有を明記しました。岸田首相は「相手から武力攻撃を受けたとき初めて行使する」「今後も専守防衛は堅持する」と説明しましたが、これには大きなゴマカシがあります。

## 自衛隊が米軍の指揮下に入る

「実践面で強化する」とはどんなことが行われるのですか。アメリカの対中軍事戦略で重視しているのは、日本列島から南西諸島を経て台湾、フィリピン、インドネシアと連なる第一列島線上にミサイル網を築くことです。これにより中国の台湾侵攻を「抑止」し、侵攻があった場合には武力による統一を阻止するという構想です。

「抑止」し、侵攻があった場合には武力による統一を阻止するという構想です。今回、閣議決定された「防衛力整備計画」では、

